

AFC女子アジアカップ2018

4月6日（金）～20日（金） ※現地時間

4年に1度、女子サッカーのアジアNo.1を決める「AFC女子アジアカップ」。8チームが参加し、今年はヨルダンで開催される。この大会は、来年6月にフランスで開かれる2019 FIFA女子ワールドカップのアジア最終予選を兼ねており、上位5チームにワールドカップの出場権が与えられる。2011年ワールドカップ・ドイツ大会で優勝、2015年カナダ大会で準優勝に輝いた“なでしこジャパン”が、再び世界の舞台をめざして戦う。

放送日時 ※日本時間（予定）

- 4月7日（土）BS1 夜10時30分～「日本－ベトナム」
 - 4月10日（火）BS1 夜10時35分～「日本－韓国」
 - 4月13日（金）BS1 夜10時35分～「日本－オーストラリア」
- ※以降、未定。日本の勝ちあがり決定。



●重要な大会～アジアから世界へと続く道 2019 FIFA女子ワールドカップ予選～

日本は1次リーグで、ベトナム、韓国、オーストラリアと戦う。このグループで2位以内に入ると準決勝進出を決めれば、その時点で来年のW杯出場が決定する。もし3位となった場合は、もう一つのグループ（ヨルダン、中国、タイ、フィリピン）の3位チームと、5番目の出場枠をかけて戦うことになる。日本は2014年の前回大会では優勝し、アジアチャンピオンとしてW杯に出場している。“なでしこジャパン”がもう一度、世界の強豪国に匹敵する存在となっていくためにも、今大会は出場権の獲得だけでなく、チームの目標はもちろん優勝である。

●チームのココに注目！

“なでしこジャパン”がリオオリンピックの出場を逃した直後の2016年4月、現在の高倉麻子監督が就任。20代前半の選手を次々に抜擢するなど積極的な世代交代を推し進め、2019年W杯と2020年東京オリンピックを見据えたチーム強化をはかっている。高倉監督自身も元日本代表選手で、第1回のW杯(1991年・当時は女子世界選手権)や女子サッカーがオリンピックで初めて正式種目になったアトランタオリンピック(1996年)にエースとして出場した、サッカー界のレジェンドの1人でもある。

●2020年東京五輪へと続く道

五輪前年に行われるW杯での活躍が、そのまま東京五輪へと繋がると高倉監督も選手達も口を揃えて話す。今回のAFC女子アジアカップは、そのスタートとなる大会と位置づけられる。1戦1戦どんな戦いを見せるか注目だ。

●「サッカー見るならBS1」

去年まで行われていた男子のW杯アジア最終予選を全試合生中継してきたNHKは、今大会も、日本戦全試合をBS1で生中継する。